

平成18年度 第10回梅坪台地域会議 会議録

日 時 平成18年11月8日(水)午後7時～8時40分

場 所 梅坪台交流館 大会議室

出席者 委 員 高田 政典(会長)

石井 浩次

内海 賢司

加藤 平一

菅野 宏誌

杉浦 紀子

鈴木 貫之

鈴木 園美

土田 晋

中垣 正長

日山 幹雄

日比 あかね

三岡 義亨

村山 清子

山根 満智子

吉田 孝三

事務局 中野 正則(自治振興課主幹)

高部 広明(自治振興課係長)

林 剛士(自治振興課主事)

欠席者 中根 甫

新美 守男

次 第 1 会長あいさつ

2 議 事

(1) わくわくシンポジウム(案)について

(2) 梅坪台地域の現況整理

・梅坪台交流館祭にて寄せられたご意見のまとめ

(3) 視察研修会について

(4) 平成19年度梅坪台地域会議の開催予定について

3 その他

議事(要約)

(1) わくわくシンポジウムについて

資料に基づき事務局より開催概要の説明。

委 員 地域会議の事例発表とあるが、どういったものか。合併した旧町村の地域会

議では、市への提言書を作成したと聞いた。そういった活動を行っている地域会議が発表すればいいのではないか。

委員 地域会議が要望型に転換すると地域の区長さん達との調整が大変だ。地域会議の進め方としては、地域からの意見を吸い上げる方式が良いのでは。

委員 梅坪台地域会議としてシンポジウムで発表することは、辞退することとする。

(2) 梅坪台交流館祭にて寄せられたご意見のまとめ

平成 18 年 10 月 29 日(日)に梅坪台交流館にて開催された「梅坪台交流館ふれあいまつり」において梅坪台地域会議の PR 活動を実施。来場者に対し、「梅坪台地域の良いところ」「改善したいところ」「住みよいまちにするためのちょっとしたアイデア」についての意見を募集した。その集計結果について事務局より報告。以下は挙げられた意見の抜粋。

良いところとして挙げられた主な意見

自然環境について

- ・ 学校の桜並木、安長寺の桜、伊保原団地の桜並木が綺麗。
- ・ 公園がたくさんあるところ。
- ・ 大清水町内の里山。(自然がたくさん残っている。)

利便性について

- ・ 交流館の周りに小学校、幼稚園があり、環境が良い。
- ・ 住むための機能(お店・病院・学校等)に不自由しない。交通の便もよく緑も残されている。

ふれあい活動について

- ・ ふれあい事業が多くてすごしやすい。
- ・ 交流館の活動が活発に開催されている。地域住民がお互いに仲良く、前向きに生活している。
- ・ 地区の人々が温かいところ。

その他

- ・ 医療施設や養護(子ども・老人)施設が近いので、中学生達が高齢者の方々等と交流する機会が多く、子ども達のボランティア精神が養われる。

改善したいところとして挙げられた主な意見

交通施設について

- ・ 朝夕の通勤時に車が多い。特に住宅地内に入ってくるので危険である。
- ・ 国道 155 号線が混雑する。また、側溝に蓋が無いので危険。

自然環境について

- ・ マンションがたくさん建ってしまって緑が減った。
- ・ 区画整理で森を減らさないで欲しい。

公園について

- ・ 愛知環状鉄道の梅坪駅前の公園を早く整備して、子ども達が安全に遊べる場所にしたい。
- ・ 梅坪公園をもっときれいにしてほしい。人々の憩いの場所を作ってほしい。
- ・ 公園にゴミ箱を設けるといいと思う。植木のところにゴミが放置されている。

ゴミの問題について

- ・ 犬の糞の始末をきちんとさせる。
- ・ ゴミ出しのマナーが悪い。
- ・ 道路に袋のポイ捨てが多い。ポイ捨て撲滅に向けて、ゴミ箱の設置をするとよい。

防犯について

- ・ 夜中に暴走族が多くてやかましいので、取り締まって欲しい。
- ・ 名鉄梅坪駅付近は、路上駐車が多く、また青少年の溜まり場にもなっている。
- ・ 違法路上駐車を取り締まり。

ちょっとしたアイデアとして挙げられた主な意見

交通施設について

- ・ 横断歩道を渡るとき、歩行者と運転者が少しでも心が通じるよう、笑顔であいさつが出来ると事故が少なくなるのでは。

ゴミについて

- ・ 気が付いた人がゴミを拾う。子どもに外のゴミを持って帰らせる。
- ・ 公園にいっぱいゴミが落ちているから、自分で持ち帰る。
- ・ 散歩時にゴミ袋を持ってゴミ拾いを行う。
- ・ 買い物袋を小さくたたんで常にバックに入れて持ち歩くと、活用範囲が広く便利。(ゴミ入れ等)

景観について

- ・ 道路沿いの各家庭前の歩道の草取りと、花の植栽活動を日常化させる。
- ・ 自宅の周辺は進んで整理整頓掃除に努める。そんな気配りのできる人が増えてくれることを夢見ています。

ふれあい事業について

- ・ 地域のつながりを作るため、近所の人にはあいさつをして顔の知っている人を多くつくる。あいさつ運動の実施。隣近所の人たちと常に仲良くする。
- ・ 子どもだけではなく、大人同士声を掛け合える環境づくりが必要と思います。

防犯について

- ・ 子どもの登下校時の付き添い、及び道路に立つというボランティアを行う。
- ・ 夜でも玄関灯を点けて防犯活動。
- ・ 散歩する時は、登下校の時間に合わせる。

上記以外の意見については、別紙1をご参照ください。

(3) 視察研修会について

わくわく事業申請団体の活動現場見学会を実施。日時は平成19年2月27日(火)午後1時30分から決定。

(4) 平成19年度梅坪台地域会議開催予定について

来年度の梅坪台地域会議は、原則毎月第3水曜日に開催することに決定。(4月のみ第4水曜日も開催)

その他

- ・ 梅坪台地区の状況について
前回地域会議にて提案があった件について、事務局より調査結果の説明。

(終 了)